



Japan International Education Society

日本国際教育学会

第35回研究大会 プログラム

日程：2024年10月5日（土）・10月6日（日）

会場：広島大学 教育学部L棟

後援：広島県教育委員会・広島市教育委員会

広島大学大学院人間社会科学研究科附属幼年教育研究施設

I 開催要項

1) 開催日程

2024年10月5日(土)・10月6日(日)

2) 大会会場

広島大学 東広島キャンパス(教育学部L棟)
〒439-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1

3) 大会スケジュール

10月5日(土) 《()内は建物および教室番号》

時間	プログラム
9:30~10:00	受付 (L棟1階)
10:00~11:30	自由研究発表I (L102, L104, L204)
11:30~12:30	昼食休憩
12:30~14:45	公開シンポジウム (L205)
15:00~16:00	総会 (L205)

10月6日(日)

時間	プログラム
9:30~10:00	受付 (L棟1階)
10:00~12:00	課題研究 (L102)
12:00~13:00	昼食休憩
13:00~15:00	自由研究発表II (L102, L104, L204)

* 会員控室 (L107)・大会実行委員会事務局 (L108)

※土曜日は食堂の利用が可能ですが、日曜日は学内売店、学食などすべて閉店しております。近隣にスーパーやコンビニがありますので、お手数ですが各日ご自身で昼食をご持参、ご準備いただきますようお願いいたします。周辺に飲食店等ございますが、昼休憩の間でのご飲食が難しい場合がございますので、各自準備していただくことをお勧めいたします。飲食店につきましては最終頁のQRコードにアクセスして地図をご参照ください。

4) 参加費

会員：3,000円 非会員：4,000円 学生：無料

* 参加費は現金で受付時にお支払い下さい。できるだけお釣りの要らないようご協力ください。領収書は大会受付時にお渡し致します。

* 「公開シンポジウム」のみに参加される場合は無料です。

* 今大会においては、学生の参加費は無料です。なお、情報交換会は予定しておりません。ご理解のほど宜しくお願い致します。

5) 自由研究発表における留意事項

- 発表者は、当該分科会開始 10 分前までに分科会会場にお入りください。
- 発表時間は、個人研究／口頭発表者が 1 名の場合の共同研究→発表 20 分＋質疑応答 10 分、口頭発表者が 2 名以上の場合の共同研究→40 分＋質疑応答 20 分です。発表時間の超過は認められません。時間配分にご注意ください。
- 発表時刻および発表順の変更は原則として行いません。やむを得ない事由により発表辞退者が発生した場合も同様です。その際は司会者判断により休憩または討論の時間とします。
- 配布資料は、発表者が事前に各自印刷（20 部程度）の上、会場にご持参願います。資料の形式は原則自由とします。大会期間中、配布資料等を会場内で印刷・作成することは出来ません。資料その他を事務局でお預かりすることも出来ません。ご了承下さい。
- 発表に際し PC 使用の場合、パソコンは各自でご用意（お持ち込み）下さい。なお、プロジェクターは利用できます。

6) アクセス・キャンパスマップ

- ・交通手段及び移動

○山陽新幹線をご利用の場合

- ・東広島駅→タクシー（約 20 分）→教育学部玄関前（※バスは土日祝運休）
- ・広島駅→JR 山陽本線（約 40 分）→JR 西条駅→バス（約 20 分）→広大中央口
→徒歩 5 分→教育学部

○広島空港をご利用の場合

- ・広島空港→リムジンバス（約 25 分）→JR 西条駅→バス（約 20 分）→広大中央口
→徒歩 5 分→教育学部
- ・広島空港→バス（約 15 分）→JR 白市駅→JR 山陽本線（約 15 分）→JR 西条駅
→バス（約 20 分）→広大中央口→徒歩 5 分→教育学部

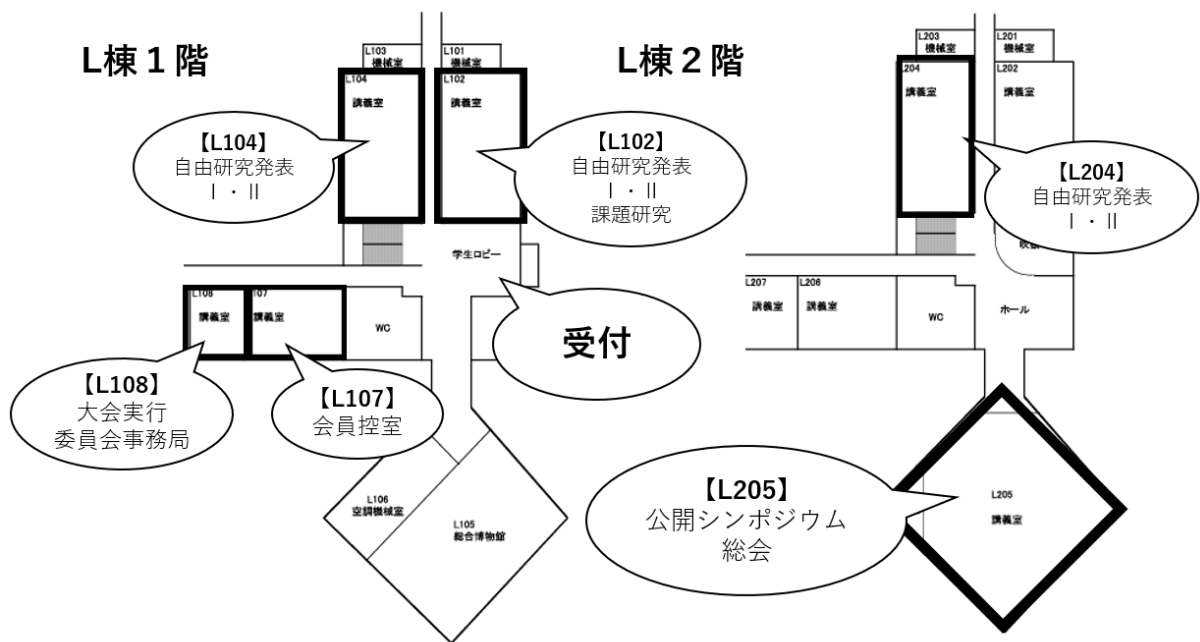
○詳しくは広島大学 HP をご覧ください

東広島キャンパス | 広島大学 (hiroshima-u. ac. jp)

〈 <https://www.hiroshima-u. ac. jp/access/higashihiroshima> 〉

* ホテルはご自身でご予約下さい。

【広島大学 東広島キャンパス】



7) 問い合わせ先

日本国際教育学会第35回大会 実行委員会
 〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1
 広島大学教育学部 比較国際教育学研究室
 E-mail: jies35th@gmail.com
 (ご連絡はメールでお願いいたします)

Ⅱ 自由研究発表Ⅰ（10月5日（土） 10:00～11:30）

第1分科会【L102教室】

司会：石井 由理（山口大学）

(1) 10:00～10:30

The Function of Certificate Program in Higher Education in Promoting Lifelong Learning: Through the Perception of Personal and Professional Benefits from Education Stakeholders in Cambodia

Dararath Uk (International Christian University, Graduate Student)

(2) 10:30～11:00

Bringing Critical Race Theory to Eastern Context: A Case Study of Bilingual Education in Xinjiang Elementary School

Yunlu Wang (Georgia State University, Graduate Student)

(3) 11:00～11:30

Educating for Wisdom: What we are learning in the Australian context

Zane M. Diamond (Monash University)

第2分科会【L104教室】

司会：黒木 貴人（福山平成大学）

(1) 10:00～10:30

中国の新大学入試における「多様化」の考察

韓 松岑（広島大学大学院生）

(2) 10:30～11:00

在日トルコ人の国際結婚家庭における宗教教育の実践
—日本人女性に焦点をあてて—

瀧口 咲良（名古屋大学大学院生）

(3) 11:00～11:30

異文化理解と多文化共生に向けた取り組みに着目して
—イギリスの文化施設における地域連携プログラムの事例から—

永田 祥子（学習院大学）

第3分科会【L204 教室】

司会：服部 美奈（名古屋大学）

(1) 10：00～10：30

中国「双減政策」におけるアフタースクールサービスの現状と改善策

曹 潤澤（広島大学大学院生）

(2) 10：30～11：00

韓国における外国につながる児童生徒の支援のための講師制度に関する一考察

○朴 聖希（奈良女子大学）

石井 佳奈子（広島大学大学院生）

小野寺 香（奈良女子大学）

(3) 11：00～11：30

パプアニューギニアの歴史教育における第二次世界大戦時の日本

玉井 昇（獨協大学）

Ⅲ 公開シンポジウム（10月5日（土） 12：30～14：45）

多文化保育の課題と保育実践者への支援

【L205 教室】

〈報告者〉

三宅 瑞穂（広島市こども未来局）	保育行政の立場から
濱名 毅（学校法人あけぼの学院）	保育実践者の立場から
吉田 貴子（大阪国際大学短期大学部）	研究者の立場から

〈指定討論者〉

小川 佳万（広島大学）

〈司会〉

中坪 史典（広島大学）

近年の外国人労働者の増加とともに、日本社会はさらなる多文化・多民族化が進行し、多様な背景をもつ人々との共生を目指す社会の構築が政策課題として強調されている。そして保育・学校現場においてもその影響は強まり、異なる文化を背景にもつ幼児・児童・生徒の育ちや学びをどのように包摂するかが、保育・教育実践上の課題としてますます重要になってきている。

このような状況下において、特に幼児期は人格形成の基礎を培う重要な時期であるため、本シンポジウムでは、幼児教育に焦点を絞り、多文化保育の観点からどのような課題に日々直面しているのかを、保育行政の立場から、保育実践者の立場から、研究者の立場からといったさまざまな立場から明らかにしていきたい。そしてこうした多文化保育の現状と課題を主として保育現場レベルで明らかにしながら、就学前教育において文化的多様性を包摂する保育とはどのようなものであるのか、保育実践者にはどのような支援が必要かについて検討していくことにしたい。

IV 総会

総 会

2024年10月5日（土）

時間：15：00～16：00

場所：L205 教室

会員各位にはご出席いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

V 課題研究（10月6日（日）10:00～12:00）

SDGsの推進とESDの展開 —国際教育的取り組みを軸にして—

【L102 教室】

〈報告者〉

古里 貴士（東海大学）	公害教育の観点から
佐野 敦子（明治学院大学・研究員）	社会統合の観点から
上野 昌之（東京都立大学・非常勤）	アイヌとSDGsという観点から

〈司会〉

栗栖 淳（国士舘大学）・吉田尚史（福岡女学院大学）

これまでの課題研究において主題とされた多文化・多民族共生社会の実現や多様性の理念と実践の多様な担い手としての教師・指導者の育成・確保の観点は、国際教育研究において重要な位置づけであると考えられる。特にこれらの社会の在り方を基盤とする「持続可能な開発目標：SDGs」の実現において教育の果たす役割の重要性は世界的な枠組みにおいて認識されるものであり、「持続可能な開発のための教育（‘Education for Sustainable Development’：ESD）」として、SDGs達成への推進における具体的な教育実践の取り組みとして提唱されてきた。

現行学習指導要領におけるESDの観点は多様性、相互性、公平性などの育みを目標として掲げられるが、これらはただ一国のみの問題にとどまらず国際的な取り組みとして共有されるものである。このESDへの取り組みは2002年「持続可能な開発に関する世界首脳会議」での提唱から、2005年～2014年の「国連ESDの10年（DESD）」、2015年～2019年の「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム（GAP）」、2019年の「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」を経て、2030年に向けてSDGsの全ての目標達成の鍵であるESDを推進していくこと等が確認された「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するベルリン宣言」の採択に至っている。これらの取り組みを踏まえつつ、国際教育の観点からSDGsへの進展とESDの取り組みについて第35回大会課題研究の主題と捉え課題研究を行いたい。

VI 自由研究発表Ⅱ（10月6日（日） 13:00～15:00）

第4分科会【L102教室】

司会：内田 直義（就実大学）

(1) 13:00～13:30

Exploring Multicultural Education: A Comparative Study of Policy Implications in China and South Korea

○Youjung Kim (Ewha Womans University, Graduate Student)

Yunlu Wang (Georgia State University, Graduate Student)

(2) 13:30～14:00

ベトナムの新モデル大学の設置と特徴

—Vietnamese-German University を中心に—

○楊 武勳（国立暨南国際大学）

林 思敏（中山医学大学）

(3) 14:00～14:30

EJSの教師の認識

—Tokkatsu を中心に—

石森 広美（北海道教育大学）

第5分科会【L104教室】

司会：新関 ヴァッド 郁代（産業能率大学）

(1) 13:00~13:30

非英語圏英語プログラムへの留学
—医学部進学に着目して—

松崎 久美（名古屋大学大学院生）

(2) 13:30~14:00

ハッチンスの職業教育再考

島川 崇（神奈川大学）

(3) 14:00~14:30

ドイツ・バイエルン州における高等教育の競争力向上の取り組みに関する研究
—専門大学に焦点を当てて—

田中 達也（釧路公立大学）

第6分科会【L204教室】

司会：呉 世蓮（関東学院大学）

(1) 13:00~13:30

中国の女子学生におけるSTEM専攻選択の要因
—個人的動機と周囲の影響に着目して—

孫 楊晨曦（広島大学大学院生）

(2) 13:30~14:00

上山下郷運動の経験から見る中国高齢期知識青年の社会参加・貢献意識

趙 天歌（早稲田大学・研究員）

(3) 14:00~14:30

ブラジルの国公立大学における「クォータ法」の公布から10年
—サンパウロ大学の変容を包摂と公正の観点から—考察—

山口 アンナ 真美（北海道教育大学・非常勤）

(4) 14:30~15:00

交差性教育学(intersectional pedagogy)の理論と実践に関する—考察

赤尾 勝己（関西大学）

〈広島大学周辺のグルメマップ〉



左のQRコードより、広島大学周辺のお食事処およびコンビニエンスストアをご確認ください。

日本国際教育学会第35回研究大会プログラム

〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1 広島大学教育学部 比較国際教育学研究室
日本国際教育学会 第35回研究大会実行委員会
E-mail: jies35th@gmail.com

実行委員長 小川 佳万（広島大学）
事務局長 中坪 史典（広島大学）
事務局次長 黒木 貴人（福山平成大学）
実行委員 石井 由理（山口大学）
実行委員 内田 直義（就実大学）
事務局員 石井 佳奈子（広島大学大学院生）

2024年8月30日発行